

平成29年度北海道地域学校協働活動推進管内別研修会（宗谷会場）事業報告書

本研修会は、管内における子どもの学びや成長を支える活動を推進している人材の資質向上を図るとともに、地域学校協働活動の一層の充実を目指すことを目的に開催しました。

■日 時：平成29年10月2日（月）

■会 場：宗谷合同庁舎4階大会議室

■参加者：22名

地域学校協働活動、放課後子ども総合プラン、土曜日の教育支援活動、子ども未来塾、の各事業で活動している方、教職員、PTA、ボランティア活動を行っている方、北海道家庭教育サポート企業の従業員やその家族の方等

■日 程：

1130 1140		1210	1330	
受付	開会	説明	演習	閉会



作成したバルーンの様子

【説明】「地域学校協働活動について」

北海道教育庁宗谷教育局教育支援課社会教育指導班主査 小島 紀行

- ・平成27年12月の中教審答申では、「地域学校協働本部」を全ての地域に整備すること、地域全体で学び合い、未来を担う子どもたちの成長を支える「地域学校協働活動」を推進することなどが提言されており、これまでの学校を支援する活動から発展させ、地域と学校が連携・協働し、互いに意見を出し合い、学び合う中で地域の将来を担う人材の育成を図ることが求められている。
- ・次期学習指導要領では、「よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指すことが示されており、地域の人材や物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ることが重要である。
- ・国では、放課後児童クラブと一体型又は連携型の放課後子供教室を計画的に整備することとしており、平成30年度末までに全国で2万か所の整備を目標としており、その内の半数は一体型で実施を目指している。
- ・全ての就学児童が放課後を安心・安全に過ごし、多様な体験・活動ができるよう地域の実態に応じ、特色を生かした取組を進めてもらいたい。



説明の様子



子どもたちの状況の説明の様子

【演習】「創作活動プログラム『バルーンアート』」

北海道教育庁宗谷教育局教育支援課社会教育指導班主査 小島 紀行

- ・宗谷管内の子どもたちは、全国全道の子どもと比較してテレビ、ゲーム機、スマートフォンなどの電子メディアに触れている時間が長い傾向にある。
- ・子どもが電子メディアと長時間接触しているという状況を改善するためには、「家族の団らん」を大切にすることや、「体験活動」や「読書活動」などに親しむことが考えられる。
- ・バルーンアートは、一本の風船を自分で形づくっていくため、子どもたちの創造性を育むとともに、簡単なものから複雑なものまであり、親子で楽しむことが可能である。
- ・参加者は、バルーンアートの基本的な技術を学んだ後、クマ、剣、花など、様々なバルーンアートに挑戦し、今後の活用の仕方について交流を行った。



バルーンアートの説明の様子

【参加者の声】

- 放課後児童クラブと子ども教室の一体化について理解できた。
- 学校と連携を図り、地域全体で子どもを育成していこうとする取組がわかった。
- 地域学校協働活動は、実務の中での問題が解決されそうな取組なので、私の町でも早急に導入してほしい。
- 自分で工夫し、協力しながら作品をつくる楽しさがわかった。
- バルーンアートは、子どもが喜ぶものなので、今後の事業に活用できる。
- 子どもたちと一緒にできる創作活動を今後も取り入れてほしい。